

一般社団法人日本女性航空協会

Japan  
Women's  
Aviation  
Association

715 | 2025  
Autumn



# 空のワレット

空を愛する女性のネットワーク  
<https://www.jwaa.or.jp/>

## INTERVIEW

ANA チャイルドケアステーション

ママが安心して仕事に行ける環境をつくる!

## REPORT

飛び立つ飛行機が見える  
「羽田空港アンジュ保育園」

## 「ママが安心して仕事に行ける環境をつくる！」

## 社内ビジネスの構築に奮闘中

ANA ホールディングス株式会社  
チャイルド ケア ステーション

働く女性にとって保育の課題は大変大きいものです。男性の育児休暇の取得率が増加しても、子供の就学後も、またその後も子育ては続きます。ANA の客室乗務員が自ら企画立案した「チャイルド ケア ステーション (以下 CCS)」は、働く母親に安心と心の余裕を与えてくれるビジネスモデル。仲間で助け合おうと立ち上がった女性たちの物語を紹介します。

インタビュー | 阿部 紀子  
写真 | 吉田 千鶴子

ANA グループでは、社員のアイデアや想いを形にし、自発的な挑戦を後押しする仕組みを継続的に展開しています。そのひとつが「Da Vinci Camp」。新規事業のアイデアを幅広く募り、グループの中長期的な価値向上に向けて新たな収益源となる事業の芽を発掘することを目指し、2021 年度からスタートしています。CCS は 2022 年にこのコンテストを通過し 2023 年から実証実験を開始しました。

同じグループ企業の中で、研修を受けた保育サポーターが、子供の保育・預かりサポートなどを行なうこのプロジェクト。特徴は、民間よりも安価であること、子供の対象年齢が 1～15 歳と幅が広いこと、お互いに業務内容や事情を理解しているので対応しやすいこと、そして何より同じ社員同士なので安心感があることでしょう。

発起人であり実質的な運営を担う未来創造室デジタル・デザイン・ラボの鎌田明子さん (62 歳)、客室センター業務推進部のブレイキー祐紀さん (60 歳) に運営状況や課題をお聞きしました。



写真左より鎌田明子さん  
ブレイキー祐紀さん

## 国際線乗務の客室乗務員の一言からはじまった企画

## Q. このプロジェクトを企画するきっかけは？

「小さなお子さんが 2 人いる客室乗務員 (以下 CA) のママさんに急な勤務変更で泊まりの乗務が入り、夫も夜勤という重なりで預け先の調整が難しかった。お姉ちゃんには『私、頑張れる』と言ってくれたが、ママは不安でいっぱいだった」という話を聞いた鎌田さんが、このことを当時 CA 対象の相談員をしていたブレイキーさんと中村祐子さん (52 歳)、そして後輩 CA の井上友美さん (51 歳) に伝え、4人で何かできることをしようと考えて社内のビジネスコンテストに挑戦することになりました。

## Q. お二人の現在までの道のりは？

鎌田：地方から東京の大学に進学し、178 期として 1986 年に入社しました。成田空港や関西空港など複数の支店で勤務しました。素敵な先輩との出会いもあり恵まれた環境でした。59 歳でこのコンテストに応募し現在の部署で CCS を専任しています。

ブレイキー：私は 1988 年に入社しましたが、学生時代から早く独り立ちしたい気持ちが強く、CA はそもそもなっ

てみたい職業でもあり、独り立ちしたい私の希望も叶えてくれる仕事だと思い挑戦しました。入社した年は ANA が国際線の定期就航を開始してまだ 3 年目で、私が成田空港支店に入店した際、職場がまだプレハブの社屋だったことも懐かしい思い出です。結婚後 3 人の子供に恵まれ、会社の育児支援制度や行政のサービスもめいっぱい利用して仕事と育児を両立しました。順調にキャリアを築いていましたが長男が 16 歳の時、難病を発症し介護休職を 1 年取得しました。その際上司が大変親身になって相談に乗ってくれたのが本当に有難かったです。復帰してからは CA のライフとキャリアを支える部署の所属となりキャリアカウンセラーとして勤務しました。

### Q. 乗務から地上勤務に移ることは大きな決断でしたか？

**鎌田：**「困っているママさん CA をなんとかしたい」— 私にはそんな強い思いがありました。その課題を解決する一歩として、ビジネスコンテストは大きなチャンスだと感じ、仲間と共に挑戦を決意しました。1 次、2 次審査を通過する中で、プロジェクトに取り組む楽しさやチームの一体感を感じながらも、「この先のキャリアをどうするか」という問いには、まだ真剣に向き合えていませんでした。

そんな中、いよいよ最終審査というときに、キャリアカウンセラーのブレイケリーさんが「もし最終審査を通過すれば、来年度からこのプロジェクトの事業化に向けて人事異動となり、地上勤務になるよ。今までの CA としてのキャリアが一旦途切れることになる。それでも本気でこのプロジェクトに取り組む覚悟はあるか？」とメンバーに問いかけてくれました。答えは「YES」でした。私たちは、どうしても仲間の子育ての悩みを解決したいと心から思っていたのです。

ブレイケリーさんに問いかけられたころ私はちょうど定年後について考える時期でした。通常 60 歳で定年になり、その後は CA として引き続き空を飛ぶか、地上勤務かを選択して再雇用となるのですが、私は地上でも後輩の役に立つことができると思い、地上で働くことを決意しました。

**ブレイケリー：**最終審査を通過し、翌年から鎌田さん 1 人が専任として異動し、他 3 名は兼務メンバーとしてこのプロジェクトは始動しました。フライト一筋でキャリアを築いてきた鎌田さんにとって、1 人でデスクワークを担うのは大変なことだったと思います。

**鎌田：**このメンバーだったからこそ明るく楽しみながら熱いパッションを共有し、ここまで来られたと思っています。IT に強い中村さんは HP やシステムの構築及び他部署との調整、数字に強い井上さんは規約や経理関係などお二人は CA 業務を兼務しながら CCS 事務局としても活動しています。

### Q. 保育サポーターと利用者の数は？

現在、保育サポーターの登録者数は 158 名、保護者の利用の登録者数は 284 名にのぼります。リピート率は 80% 以上です。利用者は主に CA ですが、リムジンバスの運転手さんや整備士さん、グランドスタッフの方など職種の方も増えてきています。また、8 月の利用件数は 47 件、9 月は 53 件で、ほぼ毎日予定が入って確実に増えており、時には私たち二人にも保育サポーターとしての出番が回ってきます。



NEW PRODUCT

# 自由の、その先へ

エアストリームジャパン株式会社  
埼玉県新座市大和田 4-15-2  
TEL: 048-481-6462 (毎週水曜日・木曜日定休)



公式 HP はこちら

- 大容量リチウムイオンバッテリー
- 高効率ソーラー発電
- 15A 電源供給でもエアコン稼働

Japan Only  
**Trade Wind™ 25FB**  
Anniversary Special Model

**AIRSTREAM JAPAN**

## Q. 具体的な利用例を教えてください

A) 朝 7:30 にご自宅へ伺い、お子さんを保育園へ送り、17:30 に保育園へお迎えに行ってお自宅に連れて帰り、用意されている夕食を食べさせて遊びながら親御さんの帰宅を待つ。

B) 18:30 ~ 21:30 の間、ご自宅で小学 6 年生のお子さんとお留守番。

C) 10:00 ~ 11:30 復職面接のある CA さんの 2 歳になるお子さんを、羽田空港で待ち合わせて預かり、キッズエリアなどで遊んだ。

D) 8:00 ~ 17:00 保護者が終日会議だったため、小学 3 年生のお嬢さんを一日サポート。原宿で推しアイドルの聖地巡りや、サポーター宅でクッキー作りなど、彼女のやりたいことを叶える内容満載で時間が足りないくらいとても喜んでもらった。

E) 夏休み、おじいさんの住む遠方まで新幹線で送り届けるサポート。

## Q. 課題は何ですか？

保育サポーターと利用者のマッチングです。保育サポーターの半数は子育て世代であるため、預かれる時間帯が自分の子供が保育園や学校に行っている日中に集中していますが、利用者側は、朝夕の保育園送迎や土・日・休日のサポートの希望が多く、サポーターが限られてしまいます。また稼働率の高い 40 ~ 50 歳代は、自身の環境変化や親の介護などによって活動が厳しくなる場合もあります。最近、退職された CA さんに声掛けしたところ、20 人ほどが手を上げて下さり本当に心強いです。

## Q. CAさんの高度な対応力がフルに生かされていますね。このプロジェクトの展望は？

私たちの提案が通ったのは、会社としても社員同士の助け合いというユニークさ、そしてそれが将来的に企業価値を高めるものと判断してくれたのだと思います。ANA グループの約 4.4 万人のニーズを探り、どのような立ち位置・形でサービスを展開するのが良いか日々模索しています。まずは、子どもも預ける人も預かる人もみんながハッピーで

いられるようにサービスの内容を磨いていきたいです。そして社内外からの評価を得ることも大切だと思っています。

## Q. 最後にご自身の夢や目標を聞かせてください

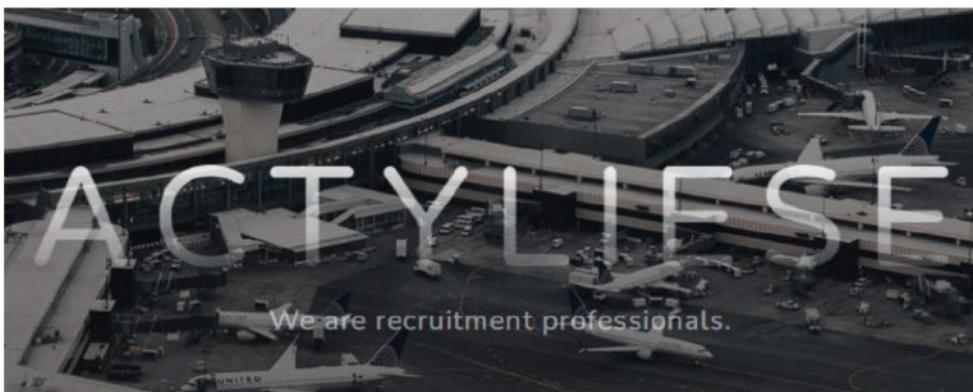
**ブレイケリー**：頼られる高齢者になりたいですね（笑）。

**鎌田**：目の前の人に喜んでもらいたい、喜んでもらえる人間になりたいと思っています。



しっかり者のブレイケリーさん、人を包み込むように温かい鎌田さん、という印象のお二人の最後の答えを聞いて、「お二人ともすでに目標達成しておられますよ!」と言いたくなりました。

家族と離れ、数日間にわたる国際線の仕事を担う人がいるからこそ、我々は国際便を安心して利用できています。その陰で孤軍奮闘している大人や子供がいるということも自分事として考えてもらうためにも、この取り組みを広く伝えたいと思います。



Actyliese  
by CREWNET



# 飛び立つ飛行機が見える 「羽田空港アンジュ保育園」



空港を眺められる素敵な環境

東京国際空港の第一旅客ターミナルの3階に、保育園があることをご存じですか? 「滑走路が目の前! 羽田空港が遊び場! 世界に羽ばたく子供を育む保育園!!」とは一体どんなところでしょう? これまで3人の子供や孫が利用した、ベビーシッター、認可および認証保育園、幼稚園の延長保育、助産院の一時預かり等様々な保育施設を知る阿部がレポートします。

取材・写真・文 | 阿部紀子 吉田千鶴子

爽やかな秋晴れの朝、通勤ラッシュでごった返す電車を乗り継ぎ、最後のモノレールで空港に到着。第一ターミナルビルの「関係者以外立ち入り禁止」とある扉の向こうには賑やかで朗らかな別世界が現れた。羽田空港アンジュ保育園の管理部マネージャーの尾崎妙子さんと一条紀子さんにご案内頂き、自らも保育のお仕事である園長の小関千鶴さん、副園長の水口幸枝さんにもお話を伺った。

## － 年中無休7時から20時まで急な勤務変更にも対応

東京都の認証保育所である羽田空港アンジュ保育園は、空港勤務者の要望に応え、また空港を利用するお客様へのサービス施設として2007年に創業を開始した。一時は120人もの子供が在籍していたが、少子化が進み、コロナ禍を経て、現在では月極め保育の0～5歳児が48人、保育士が15人、調理関係が5人と看護師他スタッフの規模で落ち着いている。利用者の多くは空港関係者で、売店勤務者、運航乗務員、客室乗務員、整備士、グランドスタッフ、一般職の方々と、都内だけでなく千葉や埼玉から通う園児もいた。また、送迎は父母のどちらが多いか尋ねると、ほぼ半々で、勤務の時間差を最大限利用し協力し合っている姿が浮かんだ。開園時間は長く、基本が7:00～20:00、空港勤務者に多い急な勤務変更にも応じ延長で6:00～22:00、そして日曜・休日も含め、年中無休の365日運営している。

特にアンジュ保育園の特徴的なのがその広さ。園庭も含める

と約1,600㎡、70㎡の3LDKマンションが23戸分もの面積で、認証保育園のイメージからは想像できない巨大さだ。まず、案内された薄いブルーと白で空と飛行場が壁に描かれた大きなホールは、卒園式や課題保育の体育が行われる広々とした空間で、その横のこれまた広い部屋にはピアノがちょこんと置かれ歌の教室が行われていた。その後、それぞれ小さめのマンション一戸分の広さのあるランチルーム、年齢別保育スペース6つ、年齢や季節などによって使い分けられる2つの園庭などを次々と紹介された。

今月は運動会ということで、3つの保育室の仕切りを取り払い、運動場のトラックの線が引かれていた。なんと、室内で運動会ができるのだ。先日、観戦に行った孫の認証保育園の運動会は、近くの小学校の体育館を借りての開催でかなり暑さが堪えたが、ここは冷暖房付きである。



左から一条さん  
園長の小関さん  
尾崎さん

## － 空港内ならではの利点がいっぱいの保育園、送迎の約半数が男性という

他にこの保育園ならではの特色やメリットを挙げてみると、①目の前に飛行機が駐機し、手を振るパイロットの顔も、離着陸も良く見える ②空港ロビーへ切手や給食の野菜を買いに行ったり、第3ターミナルや展望デッキへも散歩に出かけ、空港内のあらゆる施設が遊び・学びの場になっている ③空港であるためセキュリティがしっかりしていて安全。防災訓練や交通安全講習にも参加できる ④空港内で開催されるイベント（七夕、ハロウィン、クリスマスなど）に参加し、出発ロビーで「げんき隊」として歌や踊りを披露、警察官と一緒に交通安全の呼びかけをしたり空港会社を含め、地域交流を深めている ⑤外部講師を招いて、英語（月2回）、体操（月4回）、リトミック、歌と発声練習、工作（毎年テーマを決めて、月ごとに作品を制作）などを実施し、将来大いに羽ばたけるグローバルな子供の育成を目指している ⑥食事・おやつは100%園内で調理。勤務変更によるお迎えの遅延にも対応し夕食も用意してもらえる ⑦空港勤務者による「子供向け航空教室」も開催・・・と数え上げたらキリがない。

園児家族にも保育士にも選ばれる保育園となるべく、若いスタッフたちによるSNS発信にも力を入れているとのこと。通勤ラッシュがあっても、ここへ預けに来る理由がわかる気がした。



## アンジュ保育園見取り図



## － 職場や周囲の理解がなければ子供は育てられない

園長の小関さんから今年初めて卒園児を対象に「夏休み限定学童保育」を行ったことを聞いた。職員で子ども達のために何が出来たかを話し合い「卒園後も繋がりを大切にする取り組みとして、子ども達の健やかな成長を支える場所」との思いで副園長の水口さんを中心に実現した。

小関さんご自身、保育園に3人の子供を預けて、この保育園で10年保育士として働いてきたベテランで、ここを知り尽くす唯一無二の存在である。

子供はとりあえず預けておけば良いというものではない。子供は日々何かを見て、何かを食べて、何かを感じながら子供なりに真剣に生きている。忙しいとなかなかそこへ思い至らないのだが、ここでは広いせいとか何かゆとりを感じた。ここの園児たちの原風景は大きな飛行機が飛ぶダイナミックな飛行場である！ 卒園した1期生はそろそろ18歳。将来の進路をどう選択していくのか、引き続き取材してみたいかなのだ。

【注】認可保育所とは、国が定めた設置基準により公費で運営されている施設で、通常規模は定員60人以上。認証保育所は自治体独自の制度で運営され、保育料は自治体からの補助金と利用者からの徴収で賄われる。A型の定員20人～120人（0～未就学児）とB型の定員6人～29人（0～2歳）がある。

トータルコーディネートされたプログラムが就職の機会拡大と人材の早期戦力化を図ります。

**株式会社 A.R.T.**

**アビオン エアラインスクール**

東京 東京都港区元赤坂1-1-15 ニュートヨビル7階  
電話 03-6804-6184 FAX 03-6804-6183  
E-mail : info@avion-air.com  
http://www.avion-air.com

大阪 大阪大阪市北区梅田1丁目3-1 大阪駅前第一ビル3階  
電話 06-6136-3110 FAX 06-6136-3111

メンバー☆リレー紹介

# 私と JwAA

## 第4回 小杉山亜希さん

昨年、北半球を一周してきました。

私は、小学生のころから空に憧れ、小さいときの夢はスチュワーデスでした（年齢がばれちゃいますね）。今でも空が大好きで、昨年、STAR ALLIANCEの世界一周を使って、北半球を一周してきました。

主な目的は、パリで行われるパラリンピック応援です。2021年に開催したパラリンピックのボランティアを通じて知り合った、友人に会うためです。次の目的は、ウズベキスタンに住んでいる友人に会うことと、行ったことのない国に行くことでした。

**FLT1** 羽田空港から金浦空港へ（アジアナ航空 OZ1055）初めての韓国。金浦空港から仁川空港へ、地下鉄で移動。ここが一番どきどきしました。

**FLT2** 仁川空港からタシュケント空港へ（アジアナ航空

OZ573）滞在時間 50 時間。友人と会って、少し観光して、物足りなかったです。今年、再訪問して、青の都を満喫しました。

**FLT3** タシュケント空港からイスタンブール空港へ（ターキッシュエアラインズ TK371）トランジットで空港内を散策。大きな綺麗な空港でした。

**FLT4** イスタンブール空港からパリ空港へ（ターキッシュエアラインズ TK1823）パラリンピック観戦。パリ市内をたくさん歩きました。

**FLT5** パリ空港からミュンヘン空港へ（ルフトハンザドイツ航空 LH2229）トランジット中に飲んだビールは美味しかったです。

**FLT6** ミュンヘン空港からバンクーバー空港へ（ルフトハンザドイツ航空 LH476）滞在 23 時間。どれもこれも高額でびっくり。バンクーバー市内を散策しました。

**FLT7** バンクーバー空港から羽田空港へ（全日空 LH476）人生初めてのビジネスクラス搭乗。堪能したかったんですが、あまりの心地よさにぐっすりと寝てしまいました。

初めてのひとりでの海外旅行で、どの飛行機に乗ろうか、何処に泊まろうか、考えている間も楽しかったです。11 日間で 7 フライト。多少の遅延もありましたが、どのフライトも満足でき、楽しい時間を過ごしました。



ウズベキスタンのタシュケント空港にて。滞在 50 時間しかなかったんですが、地方まで国内線に乗って行ってきました。

夢の先へ  
さらにその

日本・世界で通用するパイロットを目指そう

就職率88%\*の実績。  
大手・日系・米系航空会社をはじめ、数多くのパイロットを輩出してきました。知識・技量だけでなく、ノンテクニカルスキルにも焦点を当てた独自の指導方法を確立。アメリカ・ロサンゼルスで国際感覚を磨き、**短期間・好環境・高品質な訓練**のもと、あなたもパイロットを目指しませんか？  
\*日本航空空線との連携を通じた就職率

skycreation.net

お問い合わせは  
気軽にLINEから！  
訓練説明会告知などは  
Instagramにて発信中！

**SKY CREATION, INC**  
Beyond Your Dream

そらあい2025  
空を愛する女性たちを励ます賞  
表彰式・懇親会

## 「空港を支える女性たち」を表彰します

航空機の安全運航と利用者の利便を支えている「空港を支える女性たち」を表彰します。懇親会では受賞者の方々から空港勤務ならではのやりがいある話を聞くことができます。

正会員、賛助会員の方へはすでに招待状をお送りしていますので是非ご出席願います。非会員の方でご出席希望の方はホームページをご覧ください。

### 日時

2025年11月14日(金曜日)18時～20時

### 会場

東京都港区新橋1-18-1 航空会館5階会議室



そらあい2025  
空を愛する女性たちを励ます賞

過去12回開催してきた「空を愛する女性たちを励ます賞」、今回のテーマは「空港を支える女性たち」。安全運航に欠かせない空港業務に携わる女性たちを励まし、広く紹介する表彰式・懇親会を開催します。航空界で頑張る女性たちに、皆様のご支援をよろしくお願いたします。

\*\*\* 受賞者の方々 \*\*\*  
グランドハンドリングスタッフ  
空港セキュリティスタッフ  
空港消防職員  
空港案内スタッフ  
航空管制運航情報官  
航空灯火・電気技術官  
チャイルドケアステーション

イラスト：絵野のりこ

航空界で活躍する女性たちを応援するため、協賛をお願いします  
●企業協賛：一口50,000円 「そらあい2025」パンフレットへの広告掲載  
●個人協賛：一口10,000円  
協賛いただける方は下記までご連絡ください。表彰式・懇親会へご招待します。

一般社団法人 日本女性航空協会 理事長 浦松香津子  
Email: sora-ai@jwaa.or.jp  
https://www.jwaa.or.jp



空を愛する女性たちのネットワーク

## 正会員・賛助会員・企業団体賛助会員になってください!

一般社団法人日本女性航空協会は、空を愛する女性たちがいきいきと活躍できる社会を目指して活動しています。特に航空業界の方々は男女問わず、航空界への恩返しにと入会いただける方がたが増えてきました。ぜひ一緒に活動し、よりよい社会を作っていきましょう。

下記までeメールにてご連絡くださるか、ホームページの右上のバナー「お問い合わせとご案内」をクリックして詳細をご覧ください。

## 会費のご案内

正会員	¥12,000
賛助会員(男性)	¥12,000
企業団体賛助会員	¥100,000

## 広告募集中

「空の仕事に興味はあるけど、よくわからない」という若い女性が大勢います。「空のワルツ」に広告を掲載し、そんな悩める女性たちにアピールしませんか? 当協会ホームページへも掲載します。

## 広告料

スペース 1/4 頁・下段 ¥50,000(税込)

## 編集後記

●チャイルドケアステーションの挑戦は昨年知りました。お話をお伺い大変感銘を受け、「そらあい2025」の協会特別賞を授与することにしたのです。「子育ての課題」を解決することが最大の少子化対策であると思います。(UK)●2つの子供達の取材を通して、働くお母さん達をサポートする皆さんの熱意を感じ胸が熱くなりました。将来、飛行機好きな子供たちが空港で働く姿を想像しながら・・・これからも応援し続けます。(CY)●33年前から始まった子育ては、姿かたちを変えながらずっと続き、気付けば孫の面倒をみているこの頃です。子育てには喜びだけでなく数々の修羅場がありますが、私自身たくさんの支えと理解によって乗り越えることができたのを今回改めて思い出しました。(AN)

発行日：令和7年10月25日

編集印刷発行人：一般社団法人日本女性航空協会(1952年5月設立)

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-1 航空会館8F

TEL：03-6811-2377 / FAX：03-6811-2388

e-mail：sora-ai@jwaa.or.jp https://www.jwaa.or.jp

EDITOR IN CHIEF: URAMATSU Kazuko

DESIGN EDITOR: KOIZUMI Yuna

Copyright 2025 Japan Women's Aviation Association. All rights reserved.

©一般社団法人日本女性航空協会 本記事の無断転載を禁じます。

